

令和6年度

教育懇談会記録

堺市PTA協議会

- 〈と き〉 令和7年2月3日(月)
午後1時～午後3時
- 〈ところ〉 堺市役所 高層館20階 会議室
- 〈目 的〉 堺市PTA協議会と堺市教育委員会
が、未来を担う堺の子どもたちを取り
巻く課題に対する取組についてともに
語り考える。
- 〈テーマ〉 ①学校群を中心としたマネジメントにつ
いて
②ICT 教育について
③少人数学級について
④学校園の施設・設備環境について
⑤運動会（体育大会）について
⑥部活動の地域移行について
⑦教育の重点項目について
⑧教職員の不祥事について
⑨堺市PTA 協議会について
- 〈出席者〉 堺市教育次長
堺市教育委員会事務局 13人
堺市PTA協議会 8人

【学校群を中心としたマネジメントについて】

＜堺市PTA協議会＞

私のこどもが通う上神谷小学校、若松台中学校がモデル校をやっております。校長が学校群について教えてくれるので、他の保護者より少し知っていると感じます。田植えの行き来とか、小学校同士のやり取りはたくさん見るのですが、中学校から見たメリットがあまりぴんとこない。何かこういうメリットがあったということがあれば、教えていただきたい。

＜堺市教育委員会＞

1月26日の「子ども協議会」において、学校群のことについて話題の1つに選んでいただき、またこどもたちにも御説明いただき、有難うございました。

実際、その学校群の良さを知っていただくためには、皆さんに学校群の実際をよく知ってもらわないといけないと思っています。今おっしゃっていただいた中学校のメリットというところでは、小学校から中学校に入学してくるところで、どれだけこどもたちが安心して、不安なく中学校で過ごせるかということが非常に大事なことだと思っています。「中1ギャップ」という言葉が出て久しいところですが、今でもやはりこどもたちの不安というのは、我々が思っている以上に強いだろうと捉えています。

今の取組からしますと、中学校の先生が小学校に行くとか、小学校のこどもたちが中学校の場所で何か活動するという取組が行われています。そこでこどもたちが中学校の先生や場所に対して、想像だけではなく実感として捉えられるというところで、結果として中学校に入学したときに、その生徒指導や生活面などにおいて安定した学校生活が送れるというところが、中学校のメリットではないかと捉えているところです。

＜堺市PTA協議会＞

先生側のメリットについてはどうでしょうか。中学校の先生が各学校に行くことで、負担が増えるように



見える気がします。

<堺市教育委員会>

事前回答の成果の3つめに「教職員同士の連携」があります。小学校と小学校、小学校と中学校の先生が、夏季研修等の感想としてお聞きすることは、「自分の学校以外の取組を知ることができて良かった」というものです。中学校の先生に限らず、そうおっしゃっている先生が多かったということが印象に残っています。

やはり従来は自校の中だけでやるという環境が多かったと捉えております。アンテナを広げることにより、今まで知らなかった授業の仕方とか、こどもたちの見取り方というところは、やはり教科担任制の中学校の先生とクラスを持っている小学校の先生方のアプローチの仕方が違うということを、肌感覚として感じておられると思います。学校間を行き来する負担感ということも確かにありますが、自校と違う色々な先生方の手法なども取り入れるということは、やはり学校単位より学校群のほうがそれだけスケールが大きくなりますので、見ることができる機会が増えたことは、先生にとっては良かったと考えています。

<堺市PTA協議会>

学校群について、保護者向けに説明する機会は、もうないのでしょうか。

<堺市教育委員会>

令和6年度では、「広報さかい」の中で教育施策に関する項目を取り上げる機会を増やしました。また、J:COM、新聞、SNSなどで発信していただいたりしていますが、もっとやっていかなければと思っています。

<堺市PTA協議会>

2年前、教育長講演会で学校群の説明を堺市で初めて実施していただきました。「広報さかい」など全市に向けての告知というのは分かりますが、いろんな地域柄がありますので、モデル校を含めて地域の自治会や自治会関係者に対して、ご説明された機会はあったのでしょうか。

<堺市教育委員会>

今後、予定をしています。資料の別冊の15ページの1月「広報さかい」の抜粋ですが、左の赤坂台学校群というところに関しては、地域の方々がすごく防災ということに関心があり、地域を巻き込んで進めていくという課題に対して、小中と、南消防署、南区役所と

地域の資源を活用した取組を一緒にしていただいたというところもあります。

学校がその地域の方々に、「自分たちは今までこんなことができなかったのだけど、こんなことがしたいんだよ」とかを語っていただくほうが、むしろ効果的ではないかと考えています。地域の方々にも実感してもらえるように進めていくことが大事だと思いますので、そういう考えでやっていきたいと思っています。

<堺市PTA協議会>

中百舌鳥中学校区は、中百舌鳥小学校と白鷺小学校という、東区、中区、北区にまたがっています。政令市に移行した際に、気づくことができなかったものが残されています。自治会もそんなに懇意にしているわけではないのです。

自治会関係者に、「学校群知ってる？」と尋ねても、中百舌鳥校区では知らない方が多いので、自治会への説明についてお尋ねしました。

<堺市教育委員会>

学校群について、令和3年度から議論していましたが、学校群って何か新しいことするのかという捉え方、キャンパス方式とか、色々不安にしまったところがあると思っています。

我々が伝えているのは、学校群で何かをしようではなくて、学校群は無色透明みたいなところがあるということです。今ある課題に対して、学校群という仕組み、小中という今までの枠組みからもう少し幅を広げたときに、選択肢が増えるんじゃないかというふうに思っています。できることが増えるということで、今あるそれぞれの学校が考えている課題とか必要感に対して、選択肢が増える、先生が考えられるバリエーションが増えることによって、今まで解決できなかったものが解決できるのではないかという期待感を持ってほしい。

先生方が少し元気になるとか、前向きになるきっかけになればいいと思っています。中学校区というのは1つのきっかけだと思っていますので、もう少し学校だけで考えるのではなくて、学校教育の中にいろんな人たちをつないでいくという思考に先生方がなればというところを念頭に、学校群をアピールしていきたいと思っています。

<堺市PTA協議会>

今の話を聞いていると、コミュニティ・スクール制

度を思いました。

<堺市教育委員会>

学校はそれぞれ違いますので、学校が主語として考えられるように、事務局としてどういうふうに支援できるのかという視点も大事と思っていますので、そういう取組を進めたいと考えています。

<堺市PTA協議会>

事前にいただいた資料の「8つのモデル学校群」というページに、「特別支援教育の視点に立った誰一人取り残さない教育の実施」とあるのですが、支援学校は学校群に入ってはこないのですか。

<堺市教育委員会>

排除はしていません。それは、今申し上げたとおり、自校で考えるところから広げましょうということで、まずはスモールステップとしての中学校区ということで始めやすいと考えています。

ただ、今いただいたご意見のように、堺市には支援学校や幼稚園もあります。そういったところの資源をどう使うか、強みをどう使うかというところは、これまでのつながりとかがあるのであれば、そこをしっかりと特徴的な取組として関わっていただくことはとても大事なことでと思っています。そうした連携もしていってどうですかという声掛けは我々からも発信していきたいと思います。我々も幼稚園、支援学校含めて巡回させてもらい、「学校群ってこういう考え方ですよ」ということは等しくお伝えさせてもらっていますので、今後学校の必要に応じて取り組んでいただければと考えています。

【ICT教育について】

<堺市PTA協議会>

現在、ICTの活用の中で、個別最適化学習とか、特別支援のところでどういったICTを使った学習がなされているのか、お答えいただければと思います。

<堺市教育委員会>

児童生徒用端末を小中学校及び支援学校に導入させていただいています。小学校及び中学校については、端末自体を効果的に活用し、電子的な教材あるいはコミュニケーションツールを通じて、個々の児童・生徒に応じた学びということが可能になっていますので、そういったものを活用し、現在はICTを活用した授業改

善ということで「学びのコンパス」の取組を進めています。これは、児童・生徒が自分に合った学びを自ら進めるという方向に授業をシフトしていく、端末を活用して行う取組です。

支援学校については、児童・生徒の端末は、小中学校のWindowsの端末ではなく、アップル社製のiPadを使っています。iPadは府の支援学校でも使っていると聞いており、支援教育に資するソフトウェアが多いということで、そういったものを活用して、それぞれの支援学校でのカリキュラムに対応するような学びに活用していただいているところです。

<堺市PTA協議会>

令和7年度でリース契約が終了ということですが、今後の端末がMacに変わっていくことはないのですか。

<堺市教育委員会>

オペレーションシステムなどにつきましては、次の選定に向けて現在検討しているところです。

<堺市PTA協議会>

こどもが小学校2年生、4年生、6年生ですが、教科書もパソコンも持って通学すると、結構の重量になっているので、もう少し軽いと良いと思います。

<堺市PTA協議会>

タブレットのフィルタリング機能をすり抜ける方法ですが、この前の「子ども協議会」の時でも、中学生のこどもたちから「授業中にユーチューブ見ているこどもたちがいる」という話を聞きました。その方法がネットに出回って、その対策として授業支援ソフトの機能として、この学級の児童・生徒全員のパソコン画面を表示するなどされています。SKYMENU Classと言うようです。そのソフトについてもこどもたちに話を聞いたら、「タスクマネージャーで消せる」と。表示されている先生には黒い画面が映るだけなので、その子自身がパソコンを開いてないと思われるだけなので、それでゲームをしたりYouTube見ていたりするこどももいるとのこと。また、デスクトップ画面を2つ作ることで、先生の画面にはちゃんとした画面が表示されていて、もう一方でYouTubeを見たりできるという話も聞いたので、情報提供します。

<堺市教育委員会>

これは本市だけでなく、全国的な問題です。生徒さんが見にいておられるサイトが悪質なものと有害なものであれば、フィルタリング対処します。それ

でも抜け道はあると思うのですけども、通常そういったものがカテゴリー的には社会的に別に問題がないとなりますと、あとはそれを授業の段階で使うことが適当なのかとか。今、学びでしないといけないことを生徒さんがどう認識してそれをされているのかということで、その点の指導を強めていくことが大事と思っています。

即効性のある部分につきましては、先ほどお聞きしたように、SKYMENUですと、タスクマネージャーからプログラムを消せば、SKYMENU自体が立ち上がらないということになります。ただ、その場合は、担任の先生がそういう状態だということが分かりますので、そういったものに気づいた中で指導していくとか、クローンを使ってしまうと、それはなかなかもう分かりづらい部分があるのですけども、何度か学校を見させていただく中で、先生も前に立って単にそれだけということではなくて、やはり授業で端末とかで課題をしているときに、一人一人の生徒に回っていくというような、そういう授業のやり方をされている先生が多いです。

端末使用中は、そういった先生の指導と併せて、我々としては情報教育というか、情報面でそういった使い方はよくないよというところの指導を学校にはお願いしていきたいと思っています。

<堺市PTA協議会>

これからは先生の画面ではなく、前に生徒達の画面が表示されていたら、子ども同士で注意し合ったりとかできてくると思います。そういうこともやっていただけたらと思います。

<堺市PTA協議会>

先日、本を読んでいると、デジタル教科書を今後導入していくという記事がありました。海外では、早くから取り入れているところもある中で、逆にデジタルじゃない方向に転換している国とかもあると知りました。デジタル教科書は、今後どのように進めていくことを検討されているのでしょうか。

<堺市教育委員会>

デジタル教科書につきましては、令和5年度から本格的な導入ということになっています。今年度は、小学校5年生から中学3年までは、英語の教科書が基本的にデジタル教科書になっています。算数と数学につきましては、約半数を目標に国が予算を取っており、希望する学校に配付するという形を取っています。い

ずれも紙の教科書も用意されています。

デジタル教科書をどのように使うかについては、当面の間は紙の教科書を併用とされており、それをどのように使うかは学校に任されているところですが、文部科学省で昨年の秋からデジタル教科書の推進に関するワーキンググループというのが立ち上がっており、そちらで紙の教科書との併用以降のことについて、学識経験者の方を含めて議論されていると聞いています。

まだ結論は出ておりませんが、一本化するのか、どのような扱い方をするのかということが議題に上っていると思いますので、我々としては注視しながら、今後どのように使っていくかということについては、その結論も踏まえながらと思っています。

【少人数学級について】

<堺市PTA協議会>

令和8年度から導入ということで、先生の数がすごく少ないとよくお聞きします。先生の確保について、対策はあるのですか。

<堺市教育委員会>

教員の確保というところで大きく2つあります。

一つは、教員の新規採用者をいかに確保していくかという視点。もう一つは、堺の教職員の年齢構成が20代、30代が6割以上を占めるということで、子育て世代の教職員の方が多いという中、育休、産休を取られ、年度途中からお休みに入られるので、その代わりに入ってください講師の方が相当数必要になってくる、その教員が不足しているという視点です。

一つ目の教員採用数の確保については、倍率だけで見ますと、10年前とかに比べたら若干減ってはいますが、全国的な教員採用の倍率の低下と比べると、一定、堺市の場合は確保ができていると見ています。

一方で、年度途中からの教師の確保というところは、同じような状況が堺市だけではなくて、全国どこの自治体も同じような状況です。なかなか年度途中に空いている講師の方もおられないため、その結果、教員が未配置になっているという状況があります。確保というのが非常に厳しく、大変な状況になっています。

<堺市PTA協議会>

不登校がすごく増えていると思うのですが、少人数学級にすると効果がありそうとか、そういう見解はあ

るのでしょうか。

<堺市教育委員会>

ストレートに効果につながれるか分かりませんが、担当するこどもの数が減ることによって、間違いなくそれまでよりきめ細かにこどもたちの様子を見ることができるということから、一人一人にかかる時間も増やすことはできるのではないかと感じています。

<堺市PTA協議会>

小学校では少人数学級になっていると思いますが、少人数学級になる前から担当していた先生が、「少人数学級になってこういうところが変わった」とか、そういう声が聞こえているのであれば教えていただければと思います。

<堺市教育委員会>

少人数学級になって、例えばノートを見る数自体が減っていく、採点の数も減っていく、そういった作業的なことが今までより少なくなる、その時間を教材研究などの時間に充てることができるといったところで、良い面があるというところは聞こえてきています。

<堺市PTA協議会>

「こどもと触れ合える時間が増えました」という声は聞こえてこないですか。

<堺市教育委員会>

それもあります。一人一人に向き合う時間が確保できるというところは、聞こえてきています。

【学校園の施設・設備環境について】

<堺市PTA協議会>

単位PTAの会長をしています、こどもも先生からも「ウォシュレット欲しい」という声をよく聞きます。実際、座ってみたら、飛び跳ねるぐらい便座が冷たかったので、温かいのがうれしいと思います。美木多中学校ですが、トイレの半分ぐらいは改修されて綺麗になっているのですが、半分はまだ汚いまなものです。それでもトイレが綺麗になっても便座が冷たかったら、やっぱりなかなか落ち着かないです。真冬に冷たい水道で手を洗うというのかなりつらいと思いますので、前向きに検討していただきたいと思っています。

<堺市教育委員会>

ウォシュレットと給湯設備ですが、現状、教育委員会としての整備としては学校園に対しては行っておりません。まずは教育委員会として、和式の便器を洋式

化していく改修を進めている状況です。平成29年度から洋式化を含めた環境改善を計画、実施しており、令和8年度までに、小学校ないしは中学校の利用頻度の高い校舎の各階に、少なくとも1か所以上は洋便器が設置されたトイレを設置するという第一目標に向けて、トイレに関しては推進しています。

ウォシュレット、給湯設備等というのは、環境改善として、いずれ求められてくると思いますが、現状教育委員会としては、まずは洋式化を最優先に整備を進めているところです。

<堺市PTA協議会>

美木多小学校で、エレベーターを設置するという話を聞いていたのですが、施工業者が万博に持っていかれたということで、工事が止まっています。そんな学校が結構あるのでしょうか。万博が開催し出したら、再開されるのでしょうか。

<堺市教育委員会>

エレベーターに関しては、エレベーター業界がかなり逼迫しています。あと、エレベーターを各学校に整備しようと思っても億単位のお金がかかりますので、一筋縄でいく話でもないところです。支援の観点など、どうしてもこどもさんが車椅子を使われていたりとか、上下階の移動が大変ということで、必要具合の高い学校に対しての整備を計画的に進めているところです。万博が終わったら業者がすぐ戻ってくるかということとは、こちらでもお答えがしにくい部分です。

<堺市PTA協議会>

このままですと、エレベーターが必要なこどもが卒業するのではないかと思います。

<堺市教育委員会>

在学中にエレベーターを全て取り付けますというのも、やっぱり年数がかかる形になります。

<堺市PTA協議会>

必要なこどものためにエレベーターの設置を決めていただいたと思いますが、そのこどもが卒業しても、その話はなくならないということで良いですね。

<堺市教育委員会>

どうしてもすぐに整備できないという場合に階段昇降機とか、あと教室の配置等をそのお子さんに配慮した形で対応していきます。

<堺市PTA協議会>

小学校6年生の息子がおりまして、三国丘中学校に

入学すると同時に大規模工事が始まるという話をお伺いしています。「最初の授業などは、そのままなので安心してください」ということだったのですが、体育の授業であったり行事だったり、慣れた頃からもう工事が始まってしまって、休み時間の使い方やクラブ活動もありますが、全生徒に関係しているのではないかと思います。体育の校庭の代替案など、お伺いしたいです。

<堺市教育委員会>

三国丘中学校に関しましては、老朽化や、小学校の児童数が増えており、今後中学校も生徒数が大きく増え教室が逼迫することが想定されています。そのため、校舎の全面改築を計画しています。令和7年10月頃から開始の予定です。昨年の10月には中学校や小学校の保護者や地元住民の方への説明会を開催しました。

説明会では、クラブ活動や体育の授業など、どうしても建て替え工事になると新しい校舎を運動場に建てるという状態になりますので、その間なかなか運動場が狭くなる使えなくなるということで、懸念があったと聞いています。説明について、昨年の10月にさせていただいていますが、まずは体育活動につきまして、学校の運動場が全て使えなくなるというわけではありませなし、体育館は通常どおり使っていただけますので、どういう形で活用していけるかということについて、学校で検討していただいています。

クラブ活動に関しては、例えば野球やサッカーといった球技関係では、やはり大きい面を使って活動されるため、工事中は思うような活動が学校の敷地内ではできないということで、近隣の中学校や堺高校にお声掛けはさせていただき、可能な限りでお借りできないか教育委員会から相談しています。

三国丘中学校を中心として、部活動に関してのワーキンググループというのを立ち上げていただき、どういう形での活動が可能か協議していただいているところです。自分の学校の敷地を使って100%できていたものは、なかなか難しい面があるかもしれませんが、可能な範囲で活動できるように、今検討していただいているところです。

<堺市PTA協議会>

ワーキンググループに私も参加させていただいてまして、学校面に投げかけてこられる問題が少し多く、地域の方との連携をもう少し取れたらと思っているところですので、引き続きよろしくお願いします。

<堺市PTA協議会>

大規模工事をしている中で、その経過の中でエレベーターを入れるということはするのでしょうか。

<堺市教育委員会>

エレベーターが設置されてない学校について、必要度合いの高いお子さんがおられるとか、校舎が渡り廊下でつながっていて比較的移動しやすいというところからつけていったほうが効率的であるということが、条件になるところもありますので、そういった条件が整ったところについては、大規模工事でエレベーターを併せて設置していくということで考えています。

<堺市PTA協議会>

大規模工事する中で、学校が狭くなるとか部活動ができなくなって、ほかの学校を借りるということですが、希望の方には、ほかの中学校だったり小学校の校区があると思いますが、校区外でも「ほかの中学校を希望したらそっちに通えるよ」という対応はできないのでしょうか。

<堺市教育委員会>

関係課に確認しましたが、今のところそうやって選択制で校区を選択できるという制度というのは、こういう場合でも設ける予定はないということです。

<堺市PTA協議会>

土師小学校では、トイレの男子小便器がすごい悪臭がして使える状態ではないです。近年、体育館の前に新しいトイレが新築されたので、そちらに休み時間に殺到しています。それについて改善点や方針があれば教えてください。

<堺市教育委員会>

基本的には洋式化工事ということです。工事も2種類あります。便器だけを替える部分改修工事と、トイレ室全体を変える工事があります。特に昔のトイレは水をまいて掃除したりするウエット型が多いのですが、それを拭き掃除で対応できるドライ式に替えるといった全部改修の2種類があります。基本はそういった改修工事を進めていくことによって、悪臭等支障になっているところを、随時改良していきます。

<堺市PTA協議会>

それは学校施設課で対応するのですか。

<堺市教育委員会>

トイレの詰まりであった場合など、学校施設課で、一旦、配管状態を見させていただきます。もしそうい

うことが想定されるのであれば、ご一報いただければと思います。

<堺市PTA協議会>

学校の体育館にエアコンを設置する工事が始まるのですが、中学校を先に設置するとか、支援学校が先とか、避難所の使用用途によってつける順番が違うとか、色々な情報が入ってくるので、実際どういう順番でついていくのか知りたいのですが。

<堺市教育委員会>

体育館空調の整備に関しましては、順番としましては、まず支援学校、高校、また、中学校については風水害＋地震の避難所に指定されている12校です。全部でその合計が、今、16校ありまして、令和7年度から工事をさせていただいて、令和7年度中にはその16校に関して整備が完了します。令和8年度には、地震のみの指定避難所になっている残りの中学校31校が令和8年度に整備し、工事を全部完了します。令和9年度から令和11年度の3か年で小学校を整備させていただきます。5年での整備という想定をさせていただいています。

【運動会（体育大会）について】

<堺市PTA協議会>

中百舌鳥中学校は、中3、中2、中1と、運動会形式で全学年が参加しています。中百舌鳥小学校がコロナ禍から授業参観形式（学年別開催）で実施しており、保護者から「隣の小学校は運動会をしていた」と言われています。いろんな声が聞こえてきます。

メリットも承知しています。地域の方も集まったら、「ビール飲みたい」とか、「PTAが準備して大変だった」とか、先生の働き方改革も考えれば分かるのですが、教育委員会としての考え方というのを知りたいです。おそらく権限は学校長に委任していると思うのですが、教育って勉強だけじゃなくて集団活動を学ぶ場であり、大人になれば結婚式や入社式など、色々なイベントを経験するので、それをこどものときに経験するというのも教育の1つと考えています。

私は、「成績アップを求めている」「本当に社会性を養ってもらいたい」と思っています。教育委員会として、その社会性を養うという観点から、いまだに新型コロナウイルスが5類に移行し、何もかもが正常に戻っており、授業参観という体育参観という形式が堺市の教育委員会の教育方針で、それが妥当なのか否

か知りたいです。退職された校長先生がよくおっしゃっていたのですが、「学校で式典にも座れないこどもを世に送り出すのは罪だ。要は社会人になってからじっと座れないこどもを出すというのは、教育者としてそれはよくないよね」という言葉が、すごく胸に響いています。教育委員会の考え方というのを教えてほしいです。

<堺市教育委員会>

運動会が社会性や集団行動を養う上で重要ではないかというお話だったと思いますが、教育的意義としては集団行動や、社会性、団体行動とかを学ぶ場でもあると考えています。

ただ、今言われている熱中症とか、こどもたちにとって長時間炎天下で待機する場面があるとか、かなり負担ではあると思います。そういうところで学校のほうで、特に小学校ですが、小学校は授業参観という形式で実施しているところが多いと思います。そういう社会性や団体行動もしつつ、こどもたちの安全という部分で判断されていると思っています。

体力がつく中学生校においては、おそらく授業参観形式よりも、全学年が集まって体育大会を実施していると思います。教育面・安全面を考慮して各学校で判断されています。

<堺市PTA協議会>

運用がばらばらのため、保護者からクレームが来るのかなと思っています。全中学校が運動会していますとか、全小学校が授業参観ですというのであれば、おそらくそういう声って上がってこないと思います。よく聞かれるのが「教育委員会って何をどう考えているの?」。結局は、校長に委ねていると思うのですが。

例えば、コロナ禍中に、和泉市が給食なくしてパンを配って、堺市は給食なくしてそのまま帰したから、保護者が仕事中でも帰らなくてはならない事態が、コロナの1年目に起こりました。「こっちはこうしてる」「こっちはこうしない」という親が多いです。

教育委員会としての指針というのは特に出していないのですか。

<堺市教育委員会>

特別活動については、各学校で実情に応じて判断されているものだと考えています。私どもが一概に「あしなさい」「こうしなさい」というよりも、まず学校のほうで、今回言われる授業参観のメリットやデメ

リットを十分判断していただいてやっていただけたらと思っています。

ただ、言われるように、教育的意義という部分は大事にしながらやってもらうのは重要と考えています。

【部活動の地域移行について】

＜堺市PTA協議会＞

部活動の地域移行に向けて、未だにモデル校だけがされているような感じなのですが、本当に令和7年からできるのか気になっています。実質、部活動の種類とか数とかたくさんあると思うのですが、これの具体的な数字とか対策とかできそうなのか、その数を具体的に教えていただけたらと思います。

＜堺市教育委員会＞

令和5年～7年までが部活動の改革推進期間ということで、取り組んでいます。ただ、国のほうでも、令和8年度以降の取組について明確な指針がない状況の中で、現在考えているのは、平日は部活動の地域連携とか、例えば、合同部活動とか、部活動の枠を残したままやっていくような活動を考えています。また、休日は地域の実情によりますが、地域のほうに地域クラブとか、委託事業者のほうでクラブ活動を実施できる状態に持っていきたいと考えています。

現在モデル実施をしていて、来年度ももちろんモデルでやっていくことは考えていますが、実際その令和8年度以降が、何校、何部活できるかというのは、現在明確にお伝えすることができず、一定、国の動向を見ながら計画を来年度作り、庁内委員会で検討していきたいと思っています。令和8年度以降に完全に移行することは、困難だろうと思います。

＜堺市PTA協議会＞

私の中学校のバレー部女子で、実力のある子どもがいますが、提出物を出さないことが多いから試合に出してもらえないということがよくあるみたいです。部活は授業とは関係ないと思います。結局それで試合に出られないとなると、その子の可能性を潰すことになるんじゃないかと思っています。その辺は、顧問の判断に委ねるとか、ある程度の決まりがあるのでしょうか。

＜堺市教育委員会＞

授業と部活について、ルールというのは特段ございません。規定したものはありませんけども、部活動というのは教育活動の一環ですので、部活動だけをやっ

ておけばいいというのは教育的にはおかしいと思うので、学業もしっかりやっていただいて、部活も取り組んでもらう。そこは教育者である先生方がそのバランスを考えながら指導されていると思っています。

＜堺市PTA協議会＞

外部委託で休日だけ委託先に見てもらおうとなると、提出物を出さないから次の試合に使わないという連携を外部委託先としないといけないのでしょうか。そこはお任せでしょうか。

＜堺市教育委員会＞

子どもは部活動を今までやってきて、教育の一面がありますので、そういう外部の地域へ出すとき、中学校の先生ではクラブ活動を持ちたいという方もたくさんおられると思いますので、そういった方の思いを尊重していく必要があると思いますし、そういった方が地域に入って、先生の立場でなくクラブ活動の立場、要はそこで教育的な配慮をしていただくとか、外部にお願いするときに、教育的な面、子どもたちにとってどうか、勝利至上主義では駄目なので、教育的な側面、また、例えば外部指導者の中にいろんな人がいますので、違う目的で入ってこないように、そういう指導者育成の部分も並行してシステムなど作っていききたいと考えています。外に出したとしても、子どもたちが中心で、選択肢を狭めないような取組をしていきたいと思っています。

＜堺市PTA協議会＞

外部委託する学校が増えれば増えるほど、下心があったりとか悪意ある指導者の方が、その目的で応募するのではないかと思うのですが、そういう監視体制というのは何か対策があったりするのでしょうか。

＜堺市教育委員会＞

具体的にそこまでの取組というのは進んでいませんが、クラブ活動を指導する際に、大学の先生、統括コーディネーターということで入っていただいているのですが、そういった指導者の育成の研修のやり方とか、相談に乗っていただきながら、今後どうやっていくか取り組んでいる状況です。

＜堺市PTA協議会＞

地域連携という話ですが、自分のチームではないのですが、教育という基準が殴る蹴るではないですが、昭和の人間がコーチや監督をしている世界では、彼らにとってはオーケーなんです。「それぐらい厳しくし

ないと強くない」と言うんですね。

堺市が外部委託を任せるときに、保護者は、全員が全員、そうした厳しいチームに子どもが入部したからといって、何か物で殴られたり、蹴られたということは許せないと思っている保護者も多いです。監視体制が決まっていなかったと言われましたが、考慮しながら外部委託を決めてもらいたいです。

<堺市教育委員会>

体罰等手を出すというのは論外です。そういった研修もしていますし、今言われる部活動指導員や部活動外部指導者という部分に関しても、外部指導者であれば学校で面接なりをして登録してもらうのですが、そういった際に学校現場に来ていただくというときには、体罰とか手を出すとか、その時点で人を見ながらやっています。

<堺市PTA協議会>

そういったところも加味して、検討してもらえたらと思います。

<堺市教育委員会>

私も市内の部活動地域連携等推進会議の委員として一緒に検討させてもらっていますが、地域の方々をお願いしたいのは、部活動の地域移行や地域連携という中で、部活動で少し見てあげるといったことを期待しています。

学校の先生だけでは、今後、部活動は維持できないと思います。子どもも少なくなってくる中、先生も少なくならざるを得ない、学校だけで全て賄うという時代ではなくなってきました。地域の皆様にもお願いせざるを得ないという部分も出てくると思います。

そういった中、地域の皆さんにお願いするに当たり、スポ根みたいなレベルで行くのか、楽しむレベルで行くのか、求める部分があると思います。まだ結論は出せていません。ただ、トップレベルを目指すということは、部活動では思いません。その場合は近所のサッカースクールなどに行ってもらった方がいいのではないかと思います。

私たちのレベルで考えるのであれば、まずスポーツに慣れ親しんでもらう、いろんなスポーツを見て、そこから自分が極めたいスポーツがあれば、そこを目指してもらった方がいい、そのきっかけをつくるのが今後の部活動の地域移行だと思います。

そのための指導者の研修も組み立てますが、このレ

ベルで、こういうことを注意してなど、セクハラ、パワハラはとんでもないです。そこを徹底して研修を受けた人になっていただく、認定制度なども含めてトータルで考えていきたい。そのために、皆様の協力が必要と思います。

<堺市PTA協議会>

なかなかサポートのメンバーが集まらないということも、三国丘中学校のワーキンググループをしていて聞こえてきた声ですが、例えば放課後だけ集える人員というのがなかなかいないのではないかと、その時間だけの放課後とか土日だったりとか、その人員の確保が難しいのではないかと。例えば、近隣の大学生などに声を掛けるという案は出ていないのでしょうか。地域の年配の方だと、例えば三国丘中学校では、クラブ活動の時間に移動するかもしれないという話があるので、見守りなどで全部の移動を先生が対応できないのではないかと話もあります。若い世代やそういう方へのお声掛けは、考えておられますか。

<堺市教育委員会>

体育の授業などでも大学生の方、関大とかの学生さんに来てもらってサポーター的なことをやってもらっています。実際、部活動の外部指導者の方として学生さんに来ていただいたりしていますので、部活動指導員や外部指導者として活用していきたいと思っています。

ただ、部活動外部指導者となると、どうしても顧問、先生も一緒についていくことになるので、先生の負担が減らないので、そういった部分も考えながら、若い学生の力も借りながら検討していきます。

<堺市PTA協議会>

部活動について、個人的に堺市以外でeスポーツの活動をやっています。小学校でeスポーツのイベントを行うと、ひきこもりの防止になると。昔、面白い、勉強できるみたいな子が人気者だったが、ゲームができるというのも人気者の要素になります。ひきこもりの子は、家でYouTube見ているとか、ゲームしているところで、得意なゲームを題材にしたら、「おまえ、ゲームすごいな」みたいな感じで、ひきこもりが解消されたという事例もあります。クラブのガイドラインで質問ですが、eスポーツというのは入っているのですか。

<堺市教育委員会>

まず、どこのクラブというよりも、部活動のガイドラインには、部活動で取り組むための先生たちの取決めなど、こういうことを守りましょうということがガイドラインです。eスポーツということに対して、特段ガイドライン云々には載ってないですが、今後の部活動の地域連携、地域移行という部分については、こどもたちの居場所という部分で、eスポーツも受ける場所があれば、選択肢の1つと思っています。

ただ、実際に堺市の中学校でeスポーツやっているところはなかったと思います。堺高校もなかったと思うので、今後の時代の流れで、そういうことができれば、連携の仕方というのはあるとは思っています。

【教育の重点項目について】

<堺市PTA協議会>

2点質問させていただきます。事前に回答いただいている中で、たくさん出てくる「学びのコンパス」について、具体的にご説明いただけますでしょうか。

<堺市教育委員会>

いただきましたご質問の中で、こどもたちの学力向上に向けてどんなことが必要かということについて、授業改善を挙げさせていただきます。その中で「学びのコンパス」というワードが出てきています。

本市として、こういった学び、授業を進めていくか、そのモデル、指針になっているものです。本市において、こどもたちの学力向上を進める中で、どこを目指していくかというところです。教育委員会としてとして、こどもが自ら学びを進めるというところを目指していきたいと考えています。

これまでの学校では、先生が黒板に書いて、同じことをみんなノートに写して、同じ教材、教科書を使って、同じように学んでいくという教育が一般的でした。みんな同じように学んで、同じように頑張っても、なかなか身についたり身につかなかったり、得意であったり苦手であったりというのが出てきています。

そういった中でこどもたちが自分で学び方を選択しながら進めていくということが必要と考えています。例えば、僕は友達と一緒に話しながら、ここは勉強したい、僕はここが難しいから先生に聞きたい、ここは1人で頑張りたいというように、個々のこどもの状況に応じて授業が進んでいくのがいいと考えています。

そういった考え方を、この「学びのコンパス」とい

う授業モデルの中で示しています。先生たちが一方的に教えるのではなく、こどもたちに学びを委ねることで、こどもたちが自ら考え、自ら学びを進めていく、そういった授業を堺市として進めていきたいということで、それを集約したものが「学びのコンパス」という内容になっております。

<堺市PTA協議会>

堺市で子育てしたいというところで色々とお答えいただきましたが、堺市で子育てする部分で近隣とどういった差別的なことがあるのか、堺市だったらこういうふう子育てができるというところについて、教育面でどういったところがあるのかをお教えいただきたい。

<堺市教育委員会>

こういった教育をするかということもあると思いますが、堺市で教育したい、子育てしたいと思っていたら、人口誘導とかまちづくりの考え方につながると思いますが、堺市の魅力という自力を上げていく、その一翼を担うのが教育と考えています。

例えば、住宅であったり、例えば緑の多い環境であったりとか、皆さんもどこかに引っ越しとかされたことがあると思います。一番多いのは、堺市の人口の中で言うと、大学に行くときに堺市を離れたり、こどもが小学校に上がるタイミングで人口が出ていく、そういった傾向があります。

そういった中、堺市に住めるいい住環境があり、その中で教育、ここで子育てしていきたいと思っていたら、教育だけでなく市全体で、いろんなところを取り組んで行くという課題があると思います。

ご質問いただいた教育についてですが、教育だけで何かできるのかというのは非常に難しく、我々として実施できるのは、教育環境を充実させていくこと。他都市との比較というのも当然あるのですが、堺市の教育は充実していると思っていたら、取組を継続してやっていくということ、外へも情報発信をしていくことだと思います。

<堺市PTA協議会>

中学2年生の娘がおり、娘が生まれた当時、こども医療費のワンコイン制度が始まって、周辺になかったので、「堺市はすごい」「子育てにすごいいいよ」というところもありました。ただ教育という部分になると、予算の関係や、1人1台にパソコンを配付するか、そういう話だったら別なのかもしれませんが、見えるよ

うな教育の部分で「堺市は一味違うぞ」と、近隣市に行くより逆に来てもらえるような充実した教育政策を企画運営していただきたいと思います。

<堺市教育委員会>

次年度は、堺の特徴ある教育として学校群が始まてきます。他都市でも、学校群という形での取組はあまりありません。また来年の6月から全員喫食制の中学校給食も始まります。体育館の空調も設置が始まりますし、トイレの洋式化も進めています。こういう堺市の教育環境を充実させることと、発信してみんなに知っていただく、この2点を引き続き頑張っていきたいと思っています。

<堺市PTA協議会>

堺市も頑張っているというところですが、既に大阪市や和泉市はさらに進んでいるというところのお話も聞いています。学校群を堺市として進めているのですが、学校群という名前がついていないものの近隣都市でも同じような形態をとっているところはあるということもあり、学校群だけ言われても「何だろう」になってしまいます。他の地域から見て、「堺市がすごい何か教育に特化している」という分かりやすい何かがあれば一番うれしいです。私たち保護者も発信しやすいと思っています。今、目下、国レベルで不登校の問題があり、不登校の支援とか対策とか、進めていく方向性があれば、お聞きしたいと思います。

<堺市教育委員会>

学校群1つにしても、分かりにくいのではないかというご意見もあったので、分かりやすい内容をお示するといったことについても考えているところです。

トピックについて、堺市独自性というのを何か出せたらいいのですが、中学校給食を始めると言いましたが、実施しているのは堺市だけかというところでもなく、いろんな自治体でやっているということもあります。都市間競争、堺市が全部勝っているのかというと、なかなか難しいところがあります。

大阪市は、給食を無償化しています。東京都のほうでも無償化している自治体はたくさんあります。財源がたくさんある自治体は、そういったところにメリットがあり、企業を集積し、税収のあるところはそういうことができたりします。

我々としては、税収がたくさんあるところだけが子育てを充実できるのではなく、公教育は自治体の財政

基盤にかかわらずみんなが共有でき享受するべきという思いを持って、国にも強く財政措置するように申入れをしています。

そういった中で、堺市のいいところとして、大阪市にない自然環境とか、子育てしやすい環境という、堺市の良いところがあると思います。堺市で教育したいと思っていただけるよう堺の公教育や子育て環境の良いところについて積極的に広報していきたいと思っています。

<堺市PTA協議会>

堺市の教育委員会は、すごく頑張っていると思っています。ただ、広報がすごく下手くそと思います。

他市の教育長が、日本一のコミュニティ・スクール制度は我が市だと言っていたけど、中学校1校しかしつかりとやっていないのですよ。だから堺市も教育委員会に戦略的広報部というのをつくって、皆さんの取組が世に出ないと思います。

堺市教育委員会は、もっとアピールしたらいいと思います。広報を頑張ってほしいです。明石市とか盛りあげ方が上手ですが、他市でもやっています。広報の部分はすごく大事だと感じています。

<堺市教育委員会>

教育委員会として、発信が弱いといったところは真摯に受け止めており、我々としても広報は強いとおっしゃる課題と思っています。今後どんどん発信できるように頑張っていきたいと思っています。

<堺市PTA協議会>

区長が色々と頑張っているところが多いと感じています。堺市でも西区長がXを発信されたり、南区も積極的に発信しています。各区長との連携というのは、考えておられるのでしょうか。

<堺市教育委員会>

各区との連携で言いますと、不登校関係とか居場所づくりというところで結構しっかりやっています。居場所づくりでは、学校に行けないお子さんの学校外の居場所として、福祉部門と連携し各区役所に居場所をつくったり、今年度から各区に学校の窓口となる統括支援員ができて、その方たちが学校の校長先生たちと連携できるよう学校訪問を行っています。そういう学校とのつながりをつくり、福祉部門と教育、学校とのつながりを持ち、より連携できるような取組を今年度から始めています。地に足がついたところの取組

を始めています。

<堺市教育委員会>

図書館協議会委員というのを2期4年やっていて、成功事例としてSNSでXをやっていたのですが、若者は見ないので、今インスタに替えました。

堺東のコンビニで本を返すことができるという実証実験をやりました。今までの図書館だったら、実施したというチラシを作って、堺市のホームページに掲載して終わりだったのです。それを拡散させたらすごい利用者が増えました。中央図書館は不便です。堺東に入らないかと思っています。借りるのはいいけど、返すのは働いていたら大変なので、期間を設けてコンビニで実証実験して返せるといったら、若者の量が一気に増えたという統計も出ています。

教育委員会もインスタとか使う広報というか、これから学校群とか給食とかもありますし、コミュニティ・スクール制度とかもどんどん大きなイベントがやってくるので、ぜひ前向きに広報をお願いします。

【教職員の不祥事について】

<堺市PTA協議会>

「未来をつくる堺の誇り」を、総会のときに説明していただきました。そこからまた具体的に対策をされているということで、その後の状況とかを共有していただければと思います。

もう一つ、事前回答で気になったのが、Teamsのチャット機能を活用した交流の場を8月に開催と書いてあり、何かチャットだからできる情報共有とかあったのか、教えていただきたいと思います。

<堺市教育委員会>

6月のPTA協議会総会の方で、学校園の取組というのを見て応援をしていただきたいという意味で、この「未来をつくる堺の誇り」を使った取組についてご紹介させていただいたところです。

プログラムを作って終わりというものでは意味はなく、継続的にこれを活用して、教職員がしっかりと自分で考えて自分の意識を改革していくということがすごく大事であると思っています。

教育委員会としては、活用状況を把握していくことが大事と思っています。8月末の段階で一旦集計しており、全学校園で最低でも1回は研修をしており、大体4回実施しているのが45校園、3回実施している

のが41校園ということで、一月に1回程度実施している学校がもう80校園以上というところで、継続的、計画的にやっていただいていると思っています。

8月のTeamsのチャット機能ですが、こちらの狙いとしては、いろんな研修を実施する中で良い取組というのがありますので、教育委員会で把握するだけではなく、いろんな学校園に広めて、そういった事例を活用し、さらに良い取組を進めてほしい。その役割が教育委員会事務局にあると思っています。このTeamsを立ち上げて、ほかの「こんなことやってみましたよ」、「こんな効果がありましたよ」ということを交流する場というのをつくったということです。

この取組の把握ということでは、1月末の段階で集計を始めておりますので、その中でさらに各学校園でどれぐらい研修し、どんな好事例があったのかということ把握して、さらに広めていきます。そうすることにより、不祥事根絶の意識の醸成を図っていきたいと考えています。

<堺市PTA協議会>

まだ、良い事例は上がってきてないのですか。具体的にお聞かせ願えないでしょうか。

<堺市教育委員会>

堺高校の例で言うと、運動会を大浜体育館で実施しました。通常、運動場や競技場など屋外で行うのですが、熱中症対策とかもありますし、いろんな準備も簡素化していくという狙いの下、大浜体育館で実施しました。その実例などもチャットに載せていただいたということがあります。

<堺市PTA協議会>

不祥事に限らずに良い事例を上げているということですね。

<堺市PTA協議会>

意識改革ということで、昔だったら別に何ともなかったことが、今は不祥事になってしまうようなことがあるのでしょうか。体罰ではないですが、昔だったらこれぐらい言っても大丈夫だったが、今は「それは暴力ですよ」と、そういうこともあるのかと思いました。

<堺市教育委員会>

数々あるのかなと思います。おっしゃっていただいている体罰、不適切な指導、あるいは個人情報取り扱いという、以前に比べて厳しいという見方を社会一般からもされると思っております。そういった面での意

識の改革が必要と思っています。

<堺市PTA協議会>

これを受けて、先生側の反応はどんな印象ですか。

<堺市教育委員会>

正直やるが増えたと思っている方もおられるかもしれませんが、こういう形で先生たちの考え方を交流するような場を持って、これも不祥事につながるものだったという気づきだったり、新たな不祥事を防ぐということにつながっているという面では、意味があるという話も聞こえてきています。

<堺市PTA協議会>

人事ということなのですが、性犯罪歴とかを確認して今は採用に至っているのですか。

<堺市教育委員会>

法律も改正されていますので、性犯罪に限らず、過去の処分歴とか、そういうところは一定把握するように努めています。

<堺市PTA協議会>

これからクラブ活動とかの移行の際に、委託する業者の方がどうかという情報も入ってくるのでしょうか。

<堺市教育委員会>

先ほどの部活動の地域移行という話だと思うのですが、指導者の質との担保というのは大事ですので、業者とお話ししていく中で地域にお願いするときには、そういった質の確保というところも確認してもらうようにしていかなければと思っています。具体的にこうしていきますというのは、今は持っておりません。

【堺市PTA協議会について】

<堺市PTA協議会>

堺市教育委員会から、私たち堺市PTA協議会にこういった活動をしてほしいとか、こういうところで協力してほしいというのがあればお聞きしたいと思います。

<堺市教育委員会>

教職員の働き方改革について、PTAでも宣言書を出していただいて、直接お会いする機会がございましたので、お礼を申し上げたいというところでエントリーさせていただきました。本当にありがとうございました。

本日の意見交換のお話を聞いている中で、部活に関わる人が広がっていくことに対しての不安とか、そういった部分も元教員として、いろいろ信頼を寄せていただいているのだと我々教職員人事部としては大変う

れしく感じました。ありがとうございます。

そういった信頼をたがわないように我々も働き方改革を進めているところですが、こどもたちにとってどんな形が一番いいのかというところをまずは考えて、これからも引き続き協力していただきたいと思います。

<堺市PTA協議会>

働き方改革は、先生からも聞くのですが、「この言葉があるからPTA活動でもご協力をお願いできない」とよく言われます。私たちは、PTA活動について先生方にも声を掛けてくれていると思っていますが、「蓋を開けてみたら先生が1人も来ないというような状況があったら、声を掛けづらい」と言われます。

そもそもPTA活動を仕事と捉えないでいただきたいということがあります。私たちも仕事だと思っていませんし、ボランティア活動というその気持ちだけは先生方も一緒にいてほしいと思います。仕事でないなら、働き方改革は関係ありません。校長先生、教頭先生の立場からすれば、それも言いづらいと思いますが、その辺の話を各現場の先生方と教育委員会とで、話す機会はあるのでしょうか。

<堺市教育委員会>

校長先生中心になりますが、働き方改革に関する会議で意見交換するというのももちろんあります。PTA側の思いとか、学校の思い、そういったものを我々としてもぜひお互い話をしていただいて、学校協議会などの場で、それぞれの思いを伝え合ってほしいと思っています。本日、会長からいただいたお気持ちは各校長にお伝えします。

<堺市PTA協議会>

私たちもいろんな学校のPTA活動にお邪魔させてもらったりするのですが、すごく熱心に先生が参加されている学校もあれば、全然参加されないというところもあり、PTA活動に対しても先生の温度差があって、もうちょっとバランス取ってうまいことやってくれたらいいのと思っています。

あと、教育委員会事務局の方も働き方改革をしてください。皆さんが改革できないと、現場の先生たちもなかなか改革をしにくいのではないかと思います。